

人間関係論

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野、教養教育センター		
担当教員	相澤 文恵 教授、田澤 光正 非常勤講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

人間関係は人間としての存在に備わる基本的条件の一つである。「どうすれば好ましい人間関係を築くことができるか。」人はその方法を日々模索し、人間関係を良好に保つためにコミュニケーションを続ける努力をしている。人間関係の基本は「自分自身を知る」ことである。一般的に、人は他者に照合することによって自分自身を認識する。また、人は他者の存在によって自分の社会的役割を認識する。他者との関係で構築された人間関係は様々な社会的相互作用の原因となり、また結果ともなる。

人が人に対して行う援助活動では、常にその関係性が基盤に置かれることになる。保健医療の現場では、専門職が職務をスムーズに遂行する基盤として良好な人間関係を構築することが不可欠である。また、対象者とどのような人間関係を構築できるかが援助の質を左右することにつながる。医療の質や倫理が問われている今、医療人として人間関係のあり方やその特徴を理解しておくことは重要な学習課題である。良好な人間関係を構築するための基礎を修得することを期待する。

・教育成果（アウトカム）

人間関係に関する基礎知識を理解し、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、医療人としての職務を遂行する際に良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。
(ディプロマポリシー：1,2,4,6)

・到達目標（SBO）

1. 自己概念を理解する。
2. 対人認知に関わる要因を説明できる。
3. 社会的相互関係について説明できる。
4. 集団意志決定について説明できる。
5. コミュニケーションの構成要素と過程を説明できる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/6	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	インTRODクシヨN 1.人間関係論を学修する意義について説明できる。 2.人間関係を改善する方法を列挙できる。 3.コミュニケーション意欲を高める方法を説明できる。
9/13	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	自己意識 1.自己意識について説明できる。 2.自己意識を豊かにする方法を列挙できる 3.リフレーミングのスキルを身に着ける。
9/20	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	対人認知 1.印象形成に関わる要因を列挙できる。 2.ステレオタイプについて説明できる。 3.対人認知の歪みに関わる要因を列挙できる。
9/27	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	対人魅力・対人葛藤 1.対人魅力に関わる要因を列挙できる。 2.対人葛藤について説明できる 3.親密な関係の崩壊について説明できる 4.葛藤への対処について説明できる。
10/18	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	社会の中の個人 1.個人的アイデンティティについて説明できる。 2.社会的アイデンティティについて説明できる。 3.社会的相互作用について説明できる。
10/25	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	集団の中の人間(1) 1.集団形成に関わる4つの懸念について説明できる。 2.集団規範と集団圧力について説明できる。 3.社会的促進と社会的手抜きについて説明できる。

11/1	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>集団の中の人間(2)</p> <p>1.集団意志決定について説明できる。 2.集団極化について説明できる。 3.集団的浅慮について説明できる。</p>
11/8	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>集団の中の人間(3)</p> <p>1.ブレインストーミングを用いた意思決定ができる。 2.コンセンサス法を用いた意思決定ができる。 3.リーダーシップの種類を説明できる。</p>
11/15	木	2	教養教育センター	田澤 光正 非常勤講師	<p>地域保健における人間関係</p> <p>1.住民の健康に寄与する多様な人々の存在を説明できる。 2.健康に寄与する多様な人々との人間関係を説明できる。</p>
11/22	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>コミュニケーション(1)</p> <p>1.コミュニケーションの構成要素を列挙できる。 2.コミュニケーションの過程について説明できる。 3.説得力のあるコミュニケーションについて説明できる。</p>
11/29	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>コミュニケーション(2)</p> <p>1.Computer-mediated communication(CMC)の特性について説明できる。 2.CMCにおけるコミュニケーションの正確性について説明できる。</p>
12/6	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>ビブリオバトル(1) クラスマッチ</p> <p>1.人間関係に関わる題材を扱った本の中から、各自が伝えたいことに応じて適当な本を選択できる。 2.わかりやすく説得力のある話し方ができる。 3.他者の発表を傾聴し、評価することができる。</p>
12/13	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	<p>ビブリオバトル(2) ファイナルマッチ</p> <p>1.他の選択科目のクラスマッチにおいて選出されたバトルとビブリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2.説得力のある話し方について評価できる。</p>

12/20	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	チーム医療における人間関係 1.チーム医療における医療従事者間の人間関係について説明できる。 まとめ 1.これまでの講義で得た知識と経験をもとに、自らの学生生活における良好な人間関係を構築する方策について説明できる。
-------	---	---	------------	----------	---

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	カラー版徹底図解 社会心理学	山岸俊男監修	新星出版社	2011
推	健康の謎を解く ストレス対処と健康保持のメカニズム	ア-ロン・アントノフスキー 著	有信堂	2008

・成績評価方法

定期試験（50%）、提出物（50%）で評価する。

・特記事項・その他

本科目では、人間関係を理解するために必要な社会心理学の概念を、講義と演習による体験によって学ぶ。各回の講義の最後に学習内容の確認を行い、理解度を評価する。次回講義の初めに解説とフィードバックを行う。

一部「医療と法律」「医療と物語」「パーソナリティ心理学」と横断的にビブリオ・バトルを行う。ビブリオバトルにおいてはコンテンツシートの提出を求める。

シラバスに記載されている次回の講義内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）をおこなうこと。各講義に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC(dynabook R634/K)	1	講義資料の提示
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	講義資料の提示
講義	デスクトップ PC(HP Compaq Pro 6300 SFF)	1	講義資料の作成